

【杉並区、座・高円寺】

ヒアリング票

1. 劇場、音楽堂等の運営方針の明確化とそれに沿った事業の実施について

(1) 劇場、音楽堂等の運営にあたっては、運営方針(※)を明確化し、それに沿って事業を実施することが望ましいと考えますが、貴劇場においては運営方針をどのように定め、どのような内容で取り組まれていますか。また、その運営方針をどのような方法で県民や市民に伝えてありますか(例：ワークショップの開催など)。

※「運営方針」とは、例えば、世界に優れた日本の芸術作品を発信する拠点とすることや、全ての市民が日常的に実演芸術に触れられる機会を提供すること、子どもたちに本物の文化芸術を鑑賞・体験する機会を提供することなどといった、各劇場、音楽堂等の目指すべき方向性や理念、使命を定めたものであって、事業計画等のベースとなる運営についての基本的考え方を指します(運営方針とあわせて、事業計画等の現物もご提供ください)。

地域にひらいた「広場」としての運営
 子供たちのための企画、および人材育成事業への重点的な取り組み
 小規模公共劇場としてのプロトタイプづくり
 記事の50パーセント程度を地域情報にあてたフリーペーパーの発行(年二回)
 先進的、個性的な運営、事業企画を背景とした全国的、国際的な発信力の確保

(2) 劇場、音楽堂等における運営方針の明確化を促進するにあたり、国として指針に記載すべきと考える事項があれば、記載してください。

劇場と地域との結びつき
 企画内容の独創性
 中、長期的目標の明記

2. 専門的な能力を有する人材の養成及び確保(配置)について

【専門人材の配置】

(1) 劇場、音楽堂等が十分に機能を発揮するためには、それぞれの設置目的や事業等に応じて、専門的な能力を有する人材(専門人材)を確保することが重要であると考えますが、現在、貴劇場にはどのような専門人材が配置されていますか。

館長、芸術監督

技術監督

技術スタッフ（機構、照明、音響）

制作チーフ

制作、運営スタッフ（演劇制作、教育普及、広報、地域協力、アカデミー運営、貸し館、ファンドレイズ）

（２）現在、貴劇場において、専門人材の配置に関し、工夫されていることがあれば、記載してください。（採用形態、任期、専門分野、人材の発掘等）

地域協力担当スタッフの配置

劇場立ち上げ（2009年）にあたっては、七割の職員を実務経験15年以上の専門スタッフによって編成

（３）現在、貴劇場が抱えている課題を解決するために必要な専門人材はどのようなものだと考えますか。（複数回答可）

（例：地域のニーズ把握のため→地域文化コーディネーター、
公演の企画（買取）のため→アートマネジメント人材、
劇場経営のため→外部資金獲得担当の人材 等）

特になし

（４）劇場、音楽堂等の規模や文化芸術分野に応じ、必要となる専門人材に違いがあると考えますか。具体的にお答えください。

劇場、音楽堂の管理運営、事業について幅広い見識と、独創性、柔軟性を有する総合職としての「劇場人」の育成が当面の課題。

規模、分野に応じた専門性についての過度な細分化は組織の硬直化を招く。

（５）現在、貴劇場において、専門人材の養成に関し、取り組んでいることがあれば、記載してください。貴劇場のスタッフの養成だけでなく、外部（他の劇場のスタッフ等）に対する研修等を行っている場合には、それについても記載してください。

劇場創造アカデミー（二年制）の運営

国内、海外からの研修生の受け入れ

（６）専門的な能力を有する人材の養成及び確保（配置）について、国として指針に記載すべきと考える事項があれば、記載してください。

中央集中に偏向しない、地域を基盤とする人材育成の促進

【大学等の教育機関との連携関連】

(1) 貴劇場の運営に当たって、大学等の教育機関と連携している取組はありますか。ある場合にはその状況及び課題、今後の進め方等（メリット・デメリットを含む）について記載してください。

協力校／東京学芸大学、立教大学（劇場創造アカデミーへの講師派遣、上演レパートリーの開発、地域開発）

女子美術大学（地域の芸術大学として、各種デザイン、ギャラリー展示などにおける相互協力）

今後、日本大学芸術学部、玉川大学演劇科との連携（学生交流など）をはじめ、公共劇場と大学との連携の可能性について、積極的な取り組みをおこなう

(2) このほか、大学等の教育機関との連携に係る取組で、今後新たに考えられるものがあれば記載してください。

各地域の大学の教育学部系との連携（人材育成、交流、研修場所の相互提供、共同研究、企画開発など）

(3) 大学の教育機関との連携について、国として指針に記載すべきと考える事項があれば、記載してください。

将来に向けて、積極的推進の方向性を明記

3. 教育普及活動（鑑賞者拡大、地域住民の参画、事業の広報、子どもへの機会の提供等）の促進について

(1) 劇場、音楽堂等において行われる実演芸術に対する国民の関心と理解を深めるため、教育普及活動（鑑賞者拡大、地域住民の参画、事業の広報、子どもへの機会の提供等）の実施に努めることが重要ですが、貴劇場において、教育普及活動について取り組んでいることはありますか。また、今後、どのような教育普及活動が必要だと考えますか。

学童、児童を対象とした年間企画の実施（いつ来ても子どもたちの居場所がある劇場、通年で実施）

区内公私立小学校四年生全員の劇場招待（毎年九月に実施）

区内小中学校への出張ワークショップの実施

中・高校生を対象とした「ものづくり塾」（通年で実施）

成人を対象とした演劇ワークショップ（年一回実施）

(2) 貴劇場において、教育普及活動を行うに当たっての課題があれば、記載してください。

ワークショップについての基礎研究

他の公共劇場、音楽堂、美術館などとの情報の交換、および実施体制のリンク

(3) 劇場、音楽堂等は、個人の年齢や性別、個人を取り巻く社会的状況等に関係なく、全ての国民に開かれた場であることが重要ですが、貴劇場を通して、障害のある方やご高齢の方などに文化芸術に親しむ機会を提供する工夫をしている場合には、記載してください。(例：各施設での訪問コンサートの開催など)

障害者、高齢者を差別、隔離せずに、常時、積極的な受け入れをおこなう劇場運営体制の確立と維持

劇場スタッフのホスピタリティを中心とした対応

劇場入り口において、区内福祉系団体と協力した障害者雇用事業（オープンカフェ、物販）を通年実施

(4) 教育普及活動について、国として指針に記載すべきと考える事項があれば、記載してください。

ワークショップについての基礎的な情報蓄積、研究体制確立の必要性

4. 複数の劇場、音楽堂等の連携（共同制作、巡回公演、定期的情報交換等）の促進について

(1) 劇場、音楽堂等が他の劇場、音楽堂等や文化芸術団体等とネットワークを構築し、これを活用することは、劇場、音楽堂等の運営に当たり、多様な活動を行うための有効な方策のひとつですが、貴劇場において、他の劇場、音楽堂等や実演芸術団体等とのネットワークや連携に係る取組（フランチャイズ、レジデンス、芸術提携等）がありますか。ある場合にはその状況及び課題、今後の進め方等（メリット・デメリットを含む）について記載してください。また、ない場合には、他の劇場、音楽堂等や実演芸術団体等とネットワークの構築や連携に係る取組を実施することにメリットを感じるかなどのお考えを記載してください。

都内の公共劇場の指定管理者間の情報交換ミーティング

キジムナーフェスタ（沖縄市）と連携した、海外の児童向け舞台作品の上演（毎

年、7月に実施)

劇場創造アカデミーについて、西日本地域の入所試験をアイホール（伊丹市）との連携により、毎年、実施
日本劇作家協会と連携した上演プログラムの選定及び演劇資料室の運営

(2) 貴劇場において、巡回公演や共同公演を行っていますか。行っている場合にはその状況及び課題、今後の進め方等（メリット・デメリットを含む）を記載してください。

開館以来、主催事業として制作した舞台作品については、劇場レパトリーとして、毎年、繰り返し上演をおこなうとともに、全国の公共劇場、演劇鑑賞団体などとの連携による上演を積極的におこなっている（年間、20～30ステージ程度／固定的な連携組織なし）

劇場制作作品の全国規模の巡回公演は、作品内容の質的な向上、および劇場経営健全化の観点から、今後とも積極的な取り組みをおこなっていききたい

(3) 貴劇場において、巡回公演や共同公演を行うに当たり、支障となっている事項を記載してください。

劇場スタッフの相互交流のための場と経費（予算）の不足

(4) 国立劇場又は新国立劇場との連携について、具体的な提案があれば記載してください。（例：企画制作のノウハウ、舞台技術等）

国立劇場、都道府県設置の公共劇場、市区町村設置の公共劇場についての機能、役割分担の明確化
その上での、連携、体系化（Ex. 人材流動の促進など）

(5) 他の劇場、音楽堂等、実演芸術団体等との連携（共同制作、巡回公演、定期的情報交換等）の促進について、国として指針に記載すべきと考える事項があれば、記載してください。

道州制の進捗などと連携した地域間ネットワークの推進

5. 調査研究機能の向上について

(1) 貴劇場において、劇場、音楽堂等のより円滑な運営、機能の向上等に関し、どのような調査研究を行っていますか。また、今後、どのような調査研究を行うべきと考えますか。（例：今までに実施された公演の調査分析等）

劇場と地域の関連性についての経年調査（来館者分析、経済効果、ほか）2010年から、毎年、実施

（２）調査研究機能の向上について、国として指針に記載すべきと考える事項があれば、記載してください。

それぞれの劇場にたいする運営評価については、その運営、事業内容にかかわる、一定の客観性を有する恒常的な調査研究は不可欠
この分野についても、各地域の大学との連携は有効

6. 劇場、音楽堂等の経営の安定化について

（１）貴劇場において、劇場、音楽堂等の安定的な経営を行うために、どのような取組を行っていますか。

区からの直接支出の三倍程度を目途とする事業予算編成を指定管理者に義務づけ、外部からの資金調達、事業収入の確保など、健全な経営体制を確立する
区内関連団体、有識者、区議会代表によって構成される運営評価委員会の実施（年間三回）
地域団体、および任意の個人によって構成される座・高円寺地域協議会の開催（月一回）
指定管理者による収益事業の取り組み（カフェレストラン）

（２）劇場、音楽堂等の経営の安定化について、国として指針に記載すべきと考える事項があれば、記載してください。

劇場事業の継続性、中長期的な発展、および専門スタッフの雇用の安定
劇場、音楽堂など、文化芸術系公共施設に導入されている指定管理者制度の運用にあたっては、短期的な効率性、経済性のみに縛られない特段の配慮と工夫が必要

7. 劇場、音楽堂等の安全管理の向上について

（１）貴劇場において、劇場、音楽堂等の安全管理について、どのような取組をしていますか。（例：定期的な避難訓練の実施、危機管理マニュアルの作成等）また、安全管理についてどのような点が不十分だと考えますか。

管内消防署との連携による、定期的な避難訓練の実施（年二回）
危機管理マニュアルの作成
劇場事故回避のための、技術系職員、制作スタッフ、フロントスタッフへの作業マニュアルと指導の徹底

(2) 劇場、音楽堂等の安全管理の向上について、国として指針に記載すべきと考える事項があれば、記載してください。

火災、災害事故とともに、劇場機能の高度化にともなう劇場事故回避のための、機構、備品の保守管理、および作業における安全管理の徹底

8. 要望や苦情等への対応向上について

(1) 貴劇場において、劇場、音楽堂等の運営に関する要望や苦情対応のために取り組んでいることはありますか。

苦情の内容に応じて、設置者である区と分担して対応

(2) 要望や苦情対応への対応向上について、国として指針に記載すべきと考える事項があれば、記載してください。

個々の苦情対応を超えた、より広い視点からの劇場運営にたいする評価体制（運営評価委員会など）の必要性

(以下、地方公共団体、指定管理者のみ)

9. 事業評価における定量的評価と定性的評価とのバランス

(1) 毎年、指定管理に係る評価や施設の管理に係る評価等を行っていると思いますが、その際どのような評価項目を設けられていますか。定量的評価と定性的評価のバランスについて工夫されていることはありますか。

施設の利用率、来館者人数、実施事業数、主催、提携上演の内容、教育普及事業内容、各事業についての参加者（観客）数など
 定量的評価については、単年度主義ではなく、中長期にわたる経年的な観点を重視
 定性的な評価については、管理運営、事業ともに、内容についてのバランスを重視

(2) どのような評価項目を設ければ、運営の実態をより適切に反映した評価が可能になると考えますか。

評価項目の内容よりも、中長期にわたる経年変化への視点

(3) 事業評価について、国として指針に記載すべきと考える事項があれば、記載してください。

定性評価が主体となる事業評価については、中長期的な達成目標の設定なしに、単年度評価はあり得ない

10. 事業の質の向上につながる指定管理者制度の運用(地方公共団体の姿勢、指定管理期間の設定、地方公共団体と指定管理者との意思疎通)

(1) 指定管理者制度の運用に関し、指定管理者の選定及び指定管理者による運営（指定管理期間の設定等）について、どのような工夫をしていますか。

● 指定管理者の選定について

二期目の選定にあたっては、一期目の実績を評価し、契約期間を三年から五年に延長の上、継続契約とした

● 指定管理者による運営について

設置者である区、指定管理者、芸術監督の三者による、情報共有、および経営方針策定のための連絡会議の実施（月一回）

(2) 指定管理者制度の運用について、国として指針に記載すべきと考える事項があれば、記載してください。

劇場事業の継続性、中、長期目標の設定と達成、および専門スタッフの雇用の安定を確保する

劇場、音楽堂など、文化芸術系公共施設の指定管理者については、上記の観点をつまえ、短期的な効率性、経済性のみには縛られない柔軟な制度運用をおこなう

以上